

あたたかなご厚志ありがとうございました。

遺志金

5月

故 林 泰平 様 寄付
 故 山田 和彦 様 寄付
 故 栗澤 ミチエ 様 寄付
 故 宮坂 志作 様 寄付
 故 藤森 源吉 様 寄付
 故 吉沢 広子 様 寄付
 故 齋藤 利春 様 寄付
 故 中村 豊子 様 寄付
 故 八木澤 すゑ子 様 寄付
 故 山本 春男 様 寄付
 故 佐藤 隆雄 様 寄付

林 毅 様
 山田 佳宏 様
 栗澤 実 様
 宮坂 武志 様
 藤森 豊 様
 吉沢 実 様
 齋藤 あい子 様
 森野 俊子 様
 八木澤 義男 様
 山本 文世 様
 佐藤 茂 様

6月

故 武井 ゆきゑ 様 寄付
 故 石井 むつ子 様 寄付
 故 吉澤 理男 様 寄付
 故 山田 和水 様 寄付
 故 青木 功 様 寄付
 故 小口 喜代人 様 寄付
 故 林 文子 様 寄付
 故 河西 正 様 寄付
 故 小口 友三 様 寄付
 故 笠原 宏平 様 寄付

武井 類 様
 石井 啓一 様
 吉澤 博行 様
 山田 秀一 様
 青木 大祐 様
 小口 政英 様
 林 公弘 様
 河西 稔 様
 小口 照文 様
 笠原 敏彦 様

一般寄付

小口 廣義 様

物品寄付

小松 一子 様 湯のみ 他
 畠山 艶子 様 タオル多数
 大森 今朝武 様 食器多数
 諏訪交通安全協会 下諏訪支部 様
 公用車用交通安全ステッカー多数
 反射型蓄光式リストバンド多数
 山本 桂子 様 タオル多数

古切手・テレホンカードなど、
 ご協力ありがとうございます。

畠山 艶子 様 杉山 克明 様
 (有)高山精工 様

アルミ缶収集 ご協力ありがとうございます。

花岡 茂 様 高木みわ子 様
 湯田 トシコ 様 山崎 政治 様
 小松 秀雄 様 井戸 和子 様
 丸山 けさよ 様 田中 庄一 様
 北原 助雄 様 田中 禮子 様
 仲町 匿名 様

ペットボトルのキャップ収集 ご協力ありがとうございます。

保科 けさ江 様 中平 知里 様
 小口 みさ子 様 匿名 様
 匿名 様 匿名 様
 小松 幸雄 様 堀田 名 様
 飛やじ 様
 中込 美香 様 河西 朝子 様
 (株)土田商店 様 清水 様
 (株)エネサーブ長野 様 唐澤 貞代 様

ご参加お待ちしております!!

下諏訪町地域包括支援センター

いきいき元気!! 健康教室

講師：岡田 真平 先生 (健康運動指導士)

日時：平成23年 8月31日 (水)

11月30日 (水)

午後1時30分～午後3時30分

対象者：65歳以上の方

場所：下諏訪町体育館

参加料：無 料

持ち物：運動靴・タオル

転ばない身体について、楽しく話を聞きながら、一緒に運動しましょう!!

〈講師プロフィール〉

東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース修士課程を修了後、現在、身体教育医学研究所 研究部長として勤務。



寄稿

知ってほしい

わが愛しの

い せい じん
偉星人

その72

偉星人と防災 Part. 1

先日の新聞記事によると、東日本大震災で被災した沿岸自治体に住む障害者のうち、2%超が亡くなったり行方不明になったという。これは普通住民での1%の2倍以上だという…なるほど、わが家の偉星人に当てはめて考えてみても、災害を知り、逃げる事は到底難しい…。納得のいく数字である。

他にも被災した自閉症の少年のことが書かれていた。避難所ではパニックや奇声を上げることは皆の迷惑になる…という事情で、何ヶ月も車中で過ごしているという自閉症児とその家族……他人事ではなく、もし自分達が震災に会ったら間違いなく同じ状況に陥るだろうと、つばを飲み込んだ…。

自閉症だけではなく、認知症や他の障害、小さなお子さんを持つ家庭でも同じことが起きるかもしれない。誰もが被災している厳しい状況の中だろうとは思…でも、こうしたハンディキャップを持たれた方々に対する「理解の目」があれば…と願わずにはいられない。

今回は偉星人が「震災に遭遇した時」を想定して、彼らの持つ困難さを紹介したいと思う。周りにいる私たちに何かできることがないか…今1度確認してみたい。

A. 危険がわからない (想像力が弱い)

- 先の見通しや待つことが困難
- 場の雰囲気を読むのが困難
- 震災の恐ろしさ・避難することの意味がわからない



例：わが家の偉星人の場合

「地震です。〇〇に走ります。」と伝える。
できれば写真カードなどで場所も見せてあげる

B. いつもと違う状況に不安を感じる (変化に対する適応の困難さ)

- スケジュールの変更に混乱する
- 初めての場所などで落ち着きがなくなる
- 新しい生活になじめず、混乱を繰り返す



例：わが家の偉星人の場合

新たな生活のスケジュールを、目に見える形で提示してあげる。
写真などで、人の名前や場所の呼び方も、できるだけ見える形で示してあげる。

今回は、わが家の自閉症の息子の場合を書かせていただきましたが、実際にはそれぞれの方にそれぞれの支援をしてあげられたら…と願う。(次回に続く)

※編集にあたり、加筆・修正しております。

(下諏訪地区障害を持つ親の会 会員)